

## 四国中央市建設工事簡易型総合評価落札方式試行要領

平成19年11月15日

告示第166号

(趣旨)

第1条 この告示は、四国中央市が発注する建設業法(昭和24年法律第100号)第2条第1項に規定する建設工事について、簡易型総合評価落札方式により落札者を決定する競争入札(以下「簡易型総合評価競争入札」という。)を試行的に行うため、その事務取扱に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この告示において「簡易型総合評価落札方式」とは、建設工事についての請負の契約を締結しようとする場合において、地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の10の2又は第167条の13の規定により、価格その他の条件が市にとって最も有利なものをもって申込みをした者を落札者とする方式をいう。

2 この告示において「施工計画型による簡易型総合評価落札方式(以下「施工計画型方式」という。）」とは、前項に定める簡易型総合評価落札方式のうち、価格及び簡易な施工計画を含む技術提案、同種工事の施工実績等技術的要素を総合的に評価する方式をいう。

3 この告示において「実績確認型による簡易型総合評価落札方式(以下「実績確認型方式」という。）」とは、価格及び同種工事の施工実績等技術的要素を総合的に評価する方式をいう。

(対象工事)

第3条 施工計画型方式は、次に掲げる建設工事を対象とした入札において実施する。

(1) 予定価格1億円以上の工事のうち、施工計画型方式により落札者を決定することが適当と認められる建設工事

(2) 前号によるもののほか、施工計画型方式により落札者を決定することが適当と認められる建設工事

2 実績確認型方式は、次に掲げる工事を対象とした入札において実施する。

(1) 予定価格3千万円以上1億円未満の工事のうち、実績確認型方式により落札者を決定することが適当と認められる建設工事

(2) 前号によるもののほか、実績確認型方式により落札者を決定することが適当と認められる建設工事

(学識経験を有する者の意見聴取)

第4条 市長は、施工計画型方式により入札を実施するに当たっては、次に掲げる事項について、あらかじめ愛媛県建設工事総合評価審査委員又は特定非営利活動法人愛媛県建設技術支援センター技術評価委員(以下「委員」という。)2人以上の意見を聴かなければならない。

(1) 簡易型総合評価競争入札を実施することの適否に関すること。

(2) 当該入札の評価項目、簡易型総合評価の方法、落札者の決定方法その他の落札者を決定するための基準(以下「落札者決定基準」という。)の適否に関すること。

(3) 落札者の決定の適否に関すること。

2 市長は、実績確認型方式により入札を実施するに当たっては、前項第1号及び第2号について、あらかじめ委員の意見を聴かなければならない。

3 前2項の規定による意見の聴取等に関する事務については、契約担当課において処理する。

(評価項目等)

第5条 施工計画型方式における評価項目等については、別表第1を標準として、入札ごとに定める。ただし、選択項目については、工事目的、工事内容、施工条件等から、必要に応じて評価項目を選択し、又は配点を変更できるものとする。

2 実績確認型方式における評価項目等については、別表第2を標準として、入札ごとに定める。この場合において、選択項目については、前項ただし書の規定を準用する。

(総合評価の方法)

第6条 総合評価は、次の式により算定した数値（以下「評価値」という。）をもって行うこととする。この場合において、評価値の計算において入札価格の単位は億円とし、求められる評価値は小数点以下5位を切り捨てるものとする。

評価値＝技術評価点／入札価格

2 技術評価点は、基礎点と加算点の合計をして得た数値とする。

3 前項に規定する基礎点は、評価項目ごとの最低限の要件を満たした場合に100点とする。

4 第2項に規定する加算点は、次の式により算定した数値とする。この場合において、小数点以下5位を切り捨てるものとする。

加算点＝（評価項目ごとの得点合計／評価項目ごとの配点合計）×10点

(入札を行うに当たり周知する事項等)

第7条 市長は、簡易型総合評価競争入札を実施する場合は、別に定めるもののほか、下記の事項をあらかじめ周知しなければならない。

(1) 簡易型総合評価競争入札を実施する旨

(2) 当該簡易型総合評価競争入札に係る落札者決定基準

(3) 次条に定める簡易型総合評価落札方式に係る資料（以下「総合評価に係る資料」という。）の提出を求める旨及びその提出期限等

(4) その他必要と認める事項

(総合評価に係る資料の提出等)

第8条 入札参加者は、前条第3号の提出期限（以下「提出期限」という。）までに、総合評価に係る資料として、施工計画型方式にあつては様式第1号から様式第6号、実績確認型方式にあつては様式第4号から様式第6号により、市長に提出しなければならない。この場合において、提出された資料は、返却しない。

2 市長は、総合評価に係る資料を提出期限までに提出しない者の行った入札は、無効とする。

3 市長は、提出された総合評価に係る資料の訂正及び差し替えは認めない。

4 入札参加者が総合評価に係る資料の作成に要した一切の費用は、入札参加者の負担とする。

(落札者の決定方法)

第9条 市長は、簡易型総合評価落札方式により落札者を決定しようとするときは、入札価

格が予定価格の制限の範囲内である者のうち、評価値の最も高い者を落札者とする。

2 市長は、四国中央市契約規則（平成16年四国中央市規則第50号）第22条の規定により基準を設けた場合で、入札価格が調査基準価格を下回った入札においては、低入札価格調査の結果、落札者となるべき者により当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、前項の規定にかかわらず、その者を落札者とせず、入札価格が予定価格の制限の範囲内である他の者のうち、評価値の最も高い者を落札者とするができる。

3 市長は、落札となるべき評価値の最も高い者が2人以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札者を決定するものとする。この場合において、当該者のうちくじを引かない者があるときは、これに代えて、当該入札事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

（適正な履行の確保）

第10条 市長は、施工計画型方式において、総合評価に係る資料として提出された施工計画の適正な履行を確保するため、当該計画の内容と同等以上の施工をしなかったと認められる場合は、当該工事の工事成績評定点を減点する。

（評価結果の公表）

第11条 市長は、簡易型総合評価競争入札を実施したときは、入札結果一覧表（様式第7号）により、評価基準並びに入札者ごとの入札価格及び評価値等を公表する。

（非落札理由に関する苦情申立て処理）

第12条 市長は、簡易型総合評価競争入札の非落札理由に関する苦情の申立てがあったときは、申立者に対し適切にその理由を説明することとする。

（その他）

第13条 この告示に定めるもののほか、簡易型総合評価落札方式に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この告示は、告示の日から施行する。

附 則（平成30年3月30日告示第34号）

この告示は、平成30年4月1日から施行する。

## 別表第1(第5条関係)

## 評価項目等 (施工計画型)

## (1) 施工計画について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
必須 施工上配慮すべき事項	施工上配慮すべき事項の適切性	施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、工夫が見られる。	20	/20
		施工上の配慮について工事の条件等を踏まえて、やや工夫が見られる。	10	
		施工上の配慮について工事の条件等を踏まえており適切である。	0	
工程管理に係る技術的所見	工事の実施手順及び工期設定の妥当性	工事の実施手順が適切で、工期が大幅に短縮される。	20	/20
		工事の実施手順が適切で、工期がやや短縮される。	10	
		工事の実施手順が適切で、各工種の期間設定が適切である。	0	
品質管理に係る技術的所見	コンクリート、鋼材溶接部等の品質の確認方法、管理方法の適切性	品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切であり、工夫が見られる。	20	/20
		品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切であり、やや工夫が見られる。	10	
		品質の確認方法、管理方法が現場条件(地形、地質、環境、地域特性等)を踏まえて適切である。	0	

## (2) 企業の施工能力について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
同種・類似工事の施工実績	過去10年間の同種・類似工事の施工実績(工事内容に応じ設定)	同種工事の実績あり	10	/10
		類似工事の実績あり	5	
		実績なし	0	
必須 工事成績評定点	過去2年度の工事成績評定の平均点	85点を超える	10	/10
		75点を超え～85点以下	5	
		75点以下	0	
優良工事表彰	優良工事の表彰履歴(過去5年度内)	知事表彰、または四国地方整備局長表彰あり	5	/5
		なし	0	
必須 ISOマネジメントシステムの取組	県内事業所におけるISO9000シリーズ或いは14000シリーズの認証取得の有無	ISO9000シリーズ及び14000シリーズを取得している	5	/5
		ISO9000シリーズ又は14000シリーズを取得している	3	
		どちらも取得していない	0	

## (3) 配置予定技術者について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
同種・類似工事の 従事経験	過去10年間の主任(監理) 技術者等としての同種・類似 工事の従事経験 (工事内容に応じ設定)	同種工事の従事経験あり	10	/10
		類似工事の従事経験あり	5	
		実績なし	0	
主任(監理)技術者 等の保有する資格	保有する資格の有無	技術士、または一級土木施工管理技士	5	/5
		上記以外の資格	0	
<u>必須</u> 継続学習(CPDS) の取り組み	CPDSの取得単位数	150ユニット以上	5	/5
		100ユニット以上150ユニット未満	3	
		100ユニット未満	0	

## (4) 地理的要件

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
<u>必須</u> 本・支店、営業所の 有無	同一市内での本・支店、 営業所の所在の有無	四国中央市内にあり	10	/10
		県内にあり	5	
		上記以外	0	

## (5) 地域貢献度

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
災害協定等 に基づく活 動実績	過去5年度内の災害協定等に基づく 活動実績の有無	あり	5	/5
		なし	0	
災害ボラ ンティア活動実 績	過去5年度内の災害ボランティア 活動実績の有無	あり	5	/5
		なし	0	

## 摘要

- ※1. 本表は、土木一式工事に係る標準的な様式であり、評価内容、評価基準及び配点は、案件に応じて変更する場合がある。
- ※2. 評価項目欄中の必須は必須項目であり、その他は選択項目である。

## 別表第2(第5条関係)

## 評価項目等 (実績確認型)

## (1) 企業の施工能力について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
<b>必須</b> 同種・類似工 事の施工実 績	過去10年間の同種・類似 工事の施工実績  (工事内容に応じ設定)	同種工事の実績あり	10	/10
		類似工事の実績あり	5	
		実績なし	0	
<b>必須</b> 工事成績評 定点	過去2年度の工事成績 評定の平均点	85点を超える	15	/15
		80点を超え～85点以下	8	
		75点を超え～80点以下	3	
		70点を超え～75点以下	1	
		70点以下	0	
優良工事表 彰	優良工事の表彰履歴  (過去5年度内)	知事表彰、または四国地方整備局長表彰あり	5	/5
		なし	0	
<b>必須</b> ISOマネジメ ントシステム の取組	ISO9000シリーズ 或いは 14000シリーズの 認証取得の有無	ISO9000シリーズ及び14000シリーズを 取得している	5	/5
		ISO9000シリーズ又は14000シリーズを 取得している	3	
		どちらも取得していない	0	

## (2) 配置予定技術者について

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
<b>必須</b> 同種・類似工事の 従事経験	過去10年間の主任(監理) 技術者等としての同種・類似 工事の従事経験  (工事内容に応じ設定)	同種工事の従事経験あり	10	/10
		類似工事の従事経験あり	5	
		従事経験なし	0	
<b>必須</b> 主任(監理)技術者 等の保有する資格	保有する資格の有無	技術士、または一級土木施工管理技士	5	/5
		二級土木施工管理技士	3	
		上記以外の資格	0	
<b>必須</b> 継続学習(CPDS) の取り組み	CPDSの取得単位数	100ユニット以上	5	/5
		50ユニット以上100ユニット未満	3	
		50ユニット未満	0	

(3) 地理的要件

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
必須 本・支店、営業所の 有無	同一市内での本・支店、営業所の 所在の有無	四国中央市内にあり	10	/10
		県内にあり	5	
		上記以外	0	

(4) 地域貢献度

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
災害協定等に基づく 活動実績	過去5年度内の災害協定等に 基づく活動実績の有無	あり	5	/5
		なし	0	
災害ボランティア 活動実績	過去5年度内の災害ボランティア 活動実績の有無	あり	5	/5
		なし	0	

摘要

- ※1. 本表は、土木一式工事に係る標準的な様式であり、評価内容、評価基準及び配点は、案件に応じて変更する場合がある。
- ※2. 評価項目欄中の「必須」は必須項目であり、その他は選択項目である。

様式第1号(第8条関係)

## 施工上配慮すべき事項

工事名: \_\_\_\_\_

商号又は名称: \_\_\_\_\_

評価対象	
------	--

項目	具体的な対応策

※ 評価対象が複数ある場合は、評価対象毎に作成すること。



様式第2号(第8条関係)

工 程 表

工事名:

商号又は名称:

項 目	単 位	数 量	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	備 考
			10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	

●工程管理に係る技術的所見

※ 着目する項目と全体的な工事の実施手順や工期設定がわかるよう工程表を作成し、作成した工程表について技術的所見を記載すること。

様式第3号(第8条関係)

## 品質管理にかかる技術的所見

工事名: \_\_\_\_\_

商号又は名称: \_\_\_\_\_

評価対象	の品質管理について
------	-----------

項目	具体的な品質管理手法

※ 評価対象が複数ある場合は、評価対象毎に作成すること。

## 企業の施工能力について

工事名: \_\_\_\_\_

商号又は名称: \_\_\_\_\_

1. 同種・類似工事の施工実績

工 事 名 称 等	工 事 名		
	発 注 者 名		
	工 事 場 所	地内	
	契 約 金 額		
	工 期	年 月 日 から	年 月 日 まで
	受 注 形 態 等	<p style="text-align: right;">* 該当する□にレ印を付してください。</p> <input type="checkbox"/> 単 体 <input type="checkbox"/> 共同企業体 ( 出資比率      % )	
	同種・類似の別	同 種 ・ 類 似	* いずれかを○で囲んでください。
工 事 概 要 等			

## 2. 工事成績評定点

直近2年度の工事成績評定平均点	(業種: )	点
-----------------	--------	---

## 3. 優良工事表彰歴

優良工事表彰歴 (過去5年度内)	年度	工事( )	表彰)
---------------------	----	-------	-----

## 4. ISOマネジメントシステム

ISOへの取組み	ISO 9000 シリーズを認証取得 ( 年 月 日)
	ISO 14000 シリーズを認証取得 ( 年 月 日)

### 摘要

- ※1 「1. 同種・類似工事の施工実績」における各事項を証する書類については、(財)日本建設情報総合センターの工事实績情報システム(CORINS)の工事カルテの写し又は工事請負契約書の写し、図面等とする。なお、平成16年4月1日以降に完成した四国中央市発注の工事に係るものにあつては、工事成績評定が70点以下は実績として認めない。
- ※2 同種工事と類似工事それぞれに実績がある場合は、同種工事を記載すること。また、同種・類似工事とも複数の実績がある場合は、直近の実績を記載すること。
- ※3 工事成績評定点については、四国中央市発注の工事における当該年度を除く直近2年度の業種ごとの平均点を記載すること。なお、算定に加味した工事の工事完成検査済証の写しを添付すること。また、当該年度を除く直近2年度内に70点以下がある場合は、その工事も平均点の算定に加味すること。
- ※4 優良工事表彰歴については、過去5年度内における国土交通省四国地方整備局長表彰、または愛媛県知事表彰の表彰歴を記載すること。なお、表彰歴が複数ある場合は、直近の表彰歴を記載すること。また、記載した工事の表彰状の写しを添付すること。
- ※5 ISOについては、認証取得しているマネジメントシステムの取得年月日を記載し、認定書の写し、取得範囲がわかる資料を添付すること。

## 配置予定技術者について

工事名: \_\_\_\_\_

商号又は名称: \_\_\_\_\_

配置予定技術者名			
監理技術者資格者証	交付年月日	年	月 日
	登録番号		
法令による資格・免許		1級_____施工管理技士(取得年: 年、登録番号: ) 技術士(取得年: 年、登録番号: )	
同種・類似工事の 従事経験の概要	工事名		
	発注者名		
	工事場所	地内	
	契約金額	円	
	工期	年 月 日 から	年 月 日まで
	工期受注形態等	* 該当する□にレ印を付すこと。 <input type="checkbox"/> 単体 <input type="checkbox"/> 共同企業体 (出資比率 %)	
	従事した役職	* 該当する□にレ印を付すこと。 <input type="checkbox"/> 監理技術者 (従事期間: ~ ) <input type="checkbox"/> 主任技術者 (従事期間: ~ )	
工事概要等			
継続学習(CPDS)の 取組み状況		ユニット( 年 月末現在)	

**摘要**

- ※1. 配置予定技術者の資格・免許については、証明書の写しを添付のこと。
- ※2. 配置予定技術者の同種・類似工事の従事経験における当該事項を証する書類については、(財)日本建設情報総合センターの工事实績情報システム(CORINS)の工事カルテの写し又は工事請負契約書の写し、図面等とする。また、平成16年4月1日以降に完成した四国中央市発注の工事に係るものについては、工事成績評定が70点以下のものは実績として認めない。
- ※3. 継続学習(CPDS)については、愛媛県施工管理技士会が発行する証明書(写し可)、または(社)全国土木管理技士会が発行するCPDS学習履歴証明書(写し可)を添付すること。

様式第6号(第8条関係)

災害時における地域貢献活動の実績調書

1. 災害協定に基づく活動実績

2. 災害ボランティアの活動実績

\* 上記1または2のいずれかのにレ点を記入してください。

商号又は名称	
活動の概要	* 記入例「〇〇地域の災害復旧作業に従事した。」
活動場所	市 町 ( 地区)
活動日	年 月 日 ~ 年 月 日 ( 日間)
活動人数	延べ 人 (実 人)
使用機械等	
その他	
上記内容に相違ないことを証明します。  年 月 日  証明者(実施機関) 印	

摘要

- ※1 「1. 災害協定に基づく活動実績」は、災害時における建設業者の防災活動等について定めた建設関係団体と四国中央市との間の協定に基づき活動した実績について記入すること。
- ※2 「2. 災害ボランティアの活動実績」は、四国中央市に災害対策本部が設置され、同本部の要請に応じて、災害ボランティアとして参加した活動実績について記入すること。
- ※3 「1. 災害協定に基づく活動実績」及び「2. 災害ボランティアの活動実績」は、過去5年度内におけるものを記入すること。なお、1及び2のそれぞれに活動実績がある場合は、別々に作成すること。

様式第7号(第11条関係)

### 工事入札執行一覧表

簡易型総合評価落札方式により発注した下記の入札案件については、次のとおり 月 日に決定しましたのでお知らせします。

工事名					
工事施工箇所				入札日	年 月 日
入札業者名	評価基準	入札価格(円)	評価値	備考	入札結果
* 1. 入札価格は、税抜きの価格である。			予定価格	税込み 税抜き(	円 円)